

道連ニュース

2017年3月号 No.128

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

北海道生協連60周年企画「金子勝」講演会を開催 ～友好団体・事務局もピックウリ 89団体・527名参加～

2月6日、ホテルポールスター札幌において、金子勝先生の講演会を開催いたしました。

当初想定の370人の予定より160人も超過する講演会で、急遽椅子と資料を追加、緊急対応にもかかわらずホテル側のすばやい対応により、開会前後には全員着席することが出来ました。今回の講演が大盛況だったのは、この間、北海道生協連が進めてきた協同組合連携や友好団体との幅広いネットワーク作りが実を結んだと思います。参加者名簿をまとめましたら89団体（生協関係121名、JA関係55名、友好団体115名、労働組合64名、個人116名）から参加がありました。

また、道新と地域新聞「まんまる」の事前告知記事によって、事前登録を超えた参加者になったと考えられます。

司会は、北海道生協連の山口専務理事が対応しました。主催者を代表し、麻田会長から憲法違反の安保法制関連法、カジノ法案等の強行採決、トランプ政権誕生による混迷など大きく社会変化がおきている中、「平和とより良き生活」の生協の原点を目指していくと挨拶をしました。

金子先生の講演のテーマは、「新自由主義・グローバルの本質と国民生活への影響」副題に「トランプ政権誕生で何が変わる」とタイミングが良かった内容でした。

講演はトランプ政権の誕生による問題、アベノミク

スの失敗の本質、今日の資本主義が金融資本主義へ変質、日銀の異次元緩和によって出口のない金融・財政政策の行き詰まりなど多岐にわたるお話でした。金子勝先生は、難しい金融、政治等について「分かりやすく」「面白く」「厳しく」「熱く」予定時間を15分も超過して、語っていただきました。

参加者は、高齢者の方が多く、早くから会場に見えられ「生協がんばれ」の励ましの声もいただきました。

また、他団体の役員からは、沢山の人数に驚かれ「良かった講演会だった」と感謝されました。講演会の終了後、昨年12月に岩波新書から出版された「悩みいろいろ」の本のサイン会も行われ、30冊完売いたしました。今回の「金子勝」講演会にご協力いただいた会員生協、友好団体の皆様に心より感謝申し上げます。



挨拶される麻田会長



熱気あふれる会場風景

コープさっぽろ コープ未来の森づくり基金 「第7回 北海道の森づくり交流会」開催

1月28日、コープさっぽろ発寒本部を基点として、旭川地区本部、函館山の手店、苫小牧地区本部、室蘭地区本部、北見地区本部(遠軽みなみ店、あばしり店)、釧路貝塚店、帯広地区本部の全道10会場で「第7回北海道の森づくり交流会」を開催し、200名の皆様に参加いただきました。今回初の試みとして、昼食をはさんだ10:00-13:30で開催し、短い時間ではありましたが食事を共にしながらの交流を持つことが出来ました。

特別講演は、速水林業株式会社 代表 速水亨氏をお招きし、「人がつくる森 ～ 森林再生の可能性～」をテーマにご講演いただきました。速水氏は、2000年2月に所有林1,070haについて世界的な森林認証システムであるFSC(森林管理協議会)認証を日本で初めて取得するなど、先進的な経営で知られている方です。

講演では、木は燃料として燃やせばCO₂がでるが、山に苗木を植え育てれば、水と太陽光により光合成を行い、CO₂を吸収し、大気に出たCO₂をまた木に戻すことになるという循環型の優秀な資源であることと、今後どのように日本の森林を育てていくか、速水林業での試みをお話いただきました。

速水林業では120年先の森林をイメージし、どの木を切つてどの木を残すか、その後この森はどんな姿になっているかを想像し、森づくりができる人材を育て



速水氏講演の様子

ながら森づくりを行っているとのこと。従業員のお話について、参加者から「速水林業さんでの“従業員に求める議論”に共感しました」と

の感想を頂いています。また、全体を通して「森・林業の世界の話は新鮮だった」「森づくりがもう少しいろいろな人に浸透する機会が必要だと思った」「森づくりに対する素晴らしい考え方と、行動力に感激した」という感想をいただきました。

第2部では、各地区で交流の時間を設け、参加団体と組合員が横につながる場づくりを行いました。

「次年度、共に森づくり活動をすることになりました」との報告もあり、その名の通り交流の場となりました。

今後も引き続き“あすもり”で、人と人をつなぐことを大切に未来へつなげる森づくりを行っていきこうと心新たにしたい一日となりました。



2017年度森づくり助成団体集合写真



第2部森づくり団体と組合員交流の様子

～1月23日福祉問題を考える会開かれる～

今回の会議では、ゲスト報告者として、「にじ色子ども食堂」の安田香織さんにご出席いただき、子ども食堂運営の実践報告を頂きました。

安田さん報告は切実なものでした。「朝ごはんを食べられない子ども、夏休みが終わると痩せて学校に戻ってくる子どもたちの存在」「学校に母親からSOS“いま、手持ちが300円しかなく途方にくれている、助けて欲しい”学校では対応できないので、NPOで対応できないかとの校長先生からのお話があった事。など、私たちの想像をはるかに超えた日本の子供たちの貧困化が語られました。2017年度の取り組み計画の重点として「子ども食堂」問題に取り組みたいとの

意見交換がありました。

次に、事務局より①異世代(世帯間)ホームシェア一事業報告②「まる元・ゆる元」活動普及推進サポート活動報告③地域生活支援総合事業、コーディネーター養成講座報告④JAグループ北海道と道連との意見交換報告があり、最後に、問題提起として、次回は各団体から2016年の福祉分野の活動まとめと2017年度の福祉活動課題及び「福祉問題を総合的に考える会」への問題提起を行っていただくことを確認して会は終了しました。

次回の「福祉問題を考える会」は3月16日に開かれます。